

第32回熊本市民美術展 熊本アートパレード

開催報告



第32回熊本市民美術展 熊本アートパレード

会期 2020年9月26日(土) - 11月1日(日)

会場 熊本市現代美術館ギャラリーI・II

審査員 明和電機 (芸術ユニット)

「第32回熊本市民美術展 熊本アートパレード」は、明和電機（芸術ユニット）を審査員に迎えた。

熊本アートパレードは、毎回審査員がテーマを設定して作品を公募する。明和電機はテーマ設定にあたり、作品を制作するうえで重要な二つの要素について熟考した。それは、

「なに“を”表現するか」（コンテンツ）と「なに“で”表現するか」（メディア）

である。そして「芸術において、もっとも大切なことは、自分自身で〈コンテンツ〉を見つけることである」という考えのもと、「コンテンツ」は出品者に委ね、「**ポスト投函サイズ**」である**こと**をテーマとした。

インターネットを通じた個人間による物品の売買や、コロナ禍における対面を避けた輸送が拡がる背景もあり、本テーマは2020年の状況にも即したものとなった。

本テーマの設定にともない、第32回熊本アートパレードは、これまでの熊本アートパレードにおけるサイズ等の規定や運営方法を大幅に変更した。また、本テーマ趣旨への理解を深めるべく、イベントとして、明和電機を講師に迎えたワークショップを2回実施した。1回目は、美術科を有する熊本県立第二高校の希望者を対象に「ナンセンス発想法ワークショップ」を同校で行った（2020年7月25日）。2回目は、希望者を対象に「ポスト投函アート・ワークショップ」を当館内で行った（2020年7月26日）。

総出品数は268点（ポスト投函サイズ141点、フリー部門127点）。審査は、ポスト投函サイズに凝縮された作品が箱から出てきたときの驚きや創意工夫が基準とされた。

アートパレード大賞（熊本市賞）は、熊本市中心部の商店街の通りを描いた、ながたあさみ《（うろ覚え）思い出の上通》が受賞した。本作は、蛇腹に折りたたまれた状態でポスト当館サイズの箱に収められていたが、ひろげると全長約6メートルにわたる長い通りの両サイドが描かれていた。そのほか、絵画、彫刻、インスタレーション、映像など多種多様な作品が出品されたことが、本年度の特徴の一つとなった。

会場には審査員の明和電機が自ら設定したテーマに準じて制作した《ポスト投函パチモク》も、特別出品として展示した。

本公募展の初日2020年9月26日には、明和電機によるミニライブを実施し、開幕を祝した。

編集：池澤茉莉（熊本市現代美術館）

参考情報

明和電機によるテーマについての説明、審査員講評、各イベントなど、本公募展に関する詳細は、ホームページおよびフリーペーパーに掲載した。

第32回熊本市民美術展 熊本アートパレード概要

明和電機によるテーマについての説明

<https://www.camk.jp/exhibition/artparade32/>

審査員講評

『Art Kiss Letter』（2020年10月）Vol. 95

<https://www.camk.jp/asset/images/about/book/akl/pdf/akl095.pdf>

[プレイベント] ナンセンス発想法ワークショップ

日時：2020年7月25日（土）10:30-12:00

場所：熊本県立第二高等学校

対象：熊本県立第二高等学校希望者

講師：明和電機

レポート（ブログ）：<https://www.camk.jp/blog/4310/>

[プレイベント] ポスト投函アート・ワークショップ

日時：2020年7月26日（日）13:30-16:30

場所：熊本市現代美術館 ホームギャラリー

対象：小学生～大人

講師：明和電機

レポート（ブログ）：<https://www.camk.jp/blog/4318/>

開幕イベント

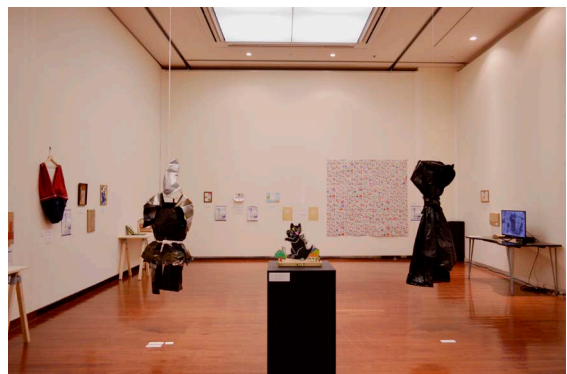
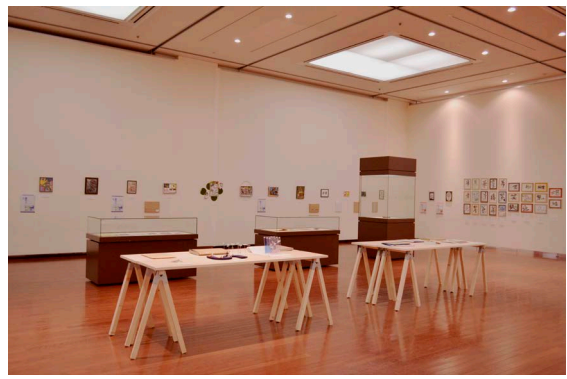
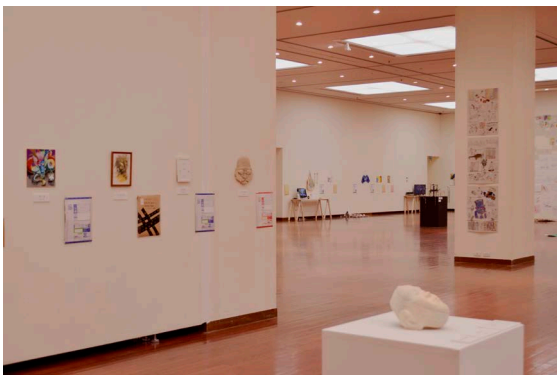
日時：2020年9月26日（土）13:30-14:00

場所：熊本市現代美術館 ギャラリー1

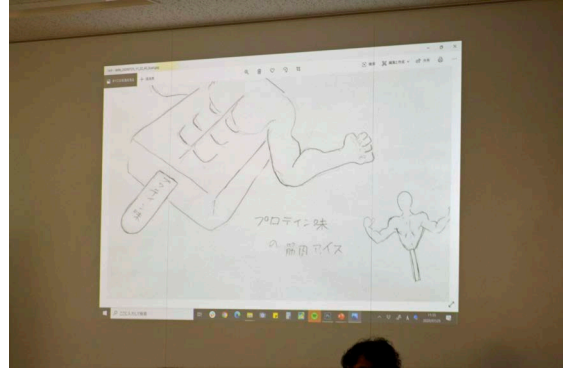
出演：明和電機

レポート（ブログ）：<https://www.camk.jp/blog/4544/>

展示風景



イベント



2020年7月25日 【プレイベント】 ナンセンス発想法ワークショップ



2020年7月26日 【プレイベント】 ポスト投函アート・ワークショップ



2020年9月26日 開幕イベント